

後援会だより きりゅう

# 櫻 隆

平成 29年 3月 8日  
 発行 福島県農業総合センター  
 農業短期大学校後援会  
 発行責任者 会長 高橋 純一  
 西白河郡矢吹町一本木 446-1



本科生 49名 研究科生 2名

## 卒業によせて



福島県知事  
 内堀 雅雄

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

皆さんは、農業短期大学校において、同じ時代を生きる学友と切磋琢磨しながら、日夜勉強に励まれ、実践的な農業の技術力や経営力とともに幅広い知識や創造力を身につけ、本日、晴れて卒業を迎えられました。皆さんはもとより、皆さんの成長を温かく見守り、支えてこられました御家族のお慶びはひとしおのことと拝察し、心よりお祝いを申し上げます。

さて、東日本震災及び原発事故から六年が経過しようとしております。県では、本年度から五年間を、福島ならではの地方創生に全力で取り組む「復興・創生期間」と位置付け、本県農業の経営基盤を強化するため、農地の利用集積や六次産業化の推進、新規就農者の育成確保などを一層進めております。原子力災害による風評は、今もなお農業を始め本県のような分野に影響を及ぼしております

が、昨年は避難地域において、水稲や花きの作付け拡大に加え、畜産の再開に向けた実証飼育が始まるとともに、会津身不知柿の輸出が六年ぶりに本格的に再開されるなど、明るい光も見えてきております。また、新規就農者数が過去最多の二百三十八人となるなど、県内各地で活躍される皆さんの先輩方の姿は、復興に向けた大きな力となっており、本校へ入学された皆さんが、学校生活を通じて、強靱な意志と行動力を持った逞しい青年となられ巣立っていかれることを大変心強く感じています。

皆さんが学んだ農業は、安全・安心な食料を供給するだけではなく、地域コミュニティの維持や自然環境の保全など多面的な機能を有し、県民の生活に極めて重要な役割を担っています。これから社会人としての第一歩を踏み出す皆さんには、様々な困難に臆することなく、本校の卒業生としての誇りと自信を持ち、これまで培った知識や技術、さらには人と人との絆を大切にしながら、夢や希望を持ってそれぞれの未来を創り上げ、御活躍されることを大いに期待しております。

結びに、卒業生の皆さんの輝かしい前途を心から祝福いたしますとともに、関係の皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。贈る言葉といたします。

## 卒業を迎えて



後援会長  
高橋 純一

卒業を迎えられた皆さん、御卒業誠におめでとうございます。

夢と希望を持ち入学し学んだ二年間、様々な経験と、知識を習得し実践力を身に付けてきた事でしょう。

皆さんはこれから、就農・就職・進学と様々な道に進もうとしていますが、福島県は震災、原発事故から六年目を迎え、まだまだ復興の途中であり、根強い風評被害が続いております。また、世界情勢を見ても日本の農業情勢は厳しいものがあります。しかし、二年間ここで養った経験、共同生活で学んだ共同の力をいかし、これからの社会生活に生かして欲しいと思います。これからの福島県の復興、日本の復興には皆さんの力が必要となります。新しい生活では様々な困難が立ちはだかると思いますが、これからも「大きな夢」

を持ち続け、「やる気」を持ち、「根気」強く続ける、更に一歩踏み出す「勇気」を持つて欲しいと思います。

そして、一人一人が地域にとけこみ、先輩達の話に耳を傾け、多くの知識を吸収し、地域農業を担うリーダーとして活躍することに期待したいと思います。

結びに、子供の成長をともに見守り続けた保護者の皆様、教職員の皆様、後援会活動においての御指導、御協力、誠に有難うございました。心より感謝申し上げます。



## はなむけの言葉



校長  
大竹 浩二

卒業証書を手にした卒業生の皆さん、御卒業、誠におめでとうございませう。

また、ともに、この良き日を迎えられた、御家族の皆様方には、二年間にわたり本校の運営に多大なる御支援を賜り、心より感謝を申し上げます。

卒業生の皆さんは、この二年間、講義や実習、学校行事、就農準備や就職活動等において、決して諦めず、こつこつと努力を積み重ね大きく成長してこられました。

また、寮生活をはじめとする学校生活の中から、人と人との関わり合いの難しさ、すばらしさ、そして、何よりも信頼できる仲間を作ることができたのではないのでしょうか。皆さんは、二年間の学校生活で、自分で自分の道を切り拓いていくための知識や技術、さらには社会人としての心構えを身につけてきまし

た。卒業後も、身につけたこの力をさらに伸ばし、自分で考えるチカラを育て、いつの日にか、地域のリーダーとして御活躍されることを期待しています。

さて、東日本大震災から六年が過ぎようとしていますが、未だに続く避難区域の存在や風評など、本県の復興は道半ばにあります。

本県の復興に向けては、皆さん方のような若い力が必要です。未来を信じ、希望を持って共に力を合わせて頑張りたいと思います。

また、希望に満ちて新しい旅立ちをされる皆さんには、今後、色々な壁に突き当たって悩んだりすることがあるかもしれませんが、本校で学んだことを誇りとして、失敗を恐れず、常に挑戦することを忘れずに頑張りたいと思います。

挑戦し続けることこそが、未来を切り拓くと信じ、飛躍を遂げてくださいます。

結びに、卒業生の皆さんの洋々たる前途が健やかで幸多きことを心から祈念して卒業に当たってはなむけの言葉とします。

# はなむけの言葉

## 「夢の実現へ」

副校長 大友 勇雄

卒業おめでとうございます。農短大での二年間はあっという間だったと思います。長い人生の中ではほんの短い時間ですが、農短大で得られた知識と経験は、仕事をしていく上での土台に、そして仲間との友情は、これからの人生における大きな支えとなる貴重な財産です。これからは社会人となって、農短大で先生や友達と一緒に育んだ「夢」を実現してください。失敗を恐れず自分を信じて頑張りましょう。活躍を期待しています。

\* \* \* \* \*

## 「校訓！」

主幹兼農学部長 竹内 孝重

ご卒業おめでとうございます。

短大での二年間で、皆さんは様々なことをやり遂げ、すばらしい花を咲かせました。いろいろな課題に直

面した時、思い出してください。バレーボールでのチャレンジ精神、野球優勝での団結力、檸檬祭でのすばらしいプレゼンテーション、四季折々の実習での発見、直売実習でのお客さんの笑顔、考え抜いた卒業論文。きつと見つかるとは自信を持って社会で活躍してください。そして大きな果を実らせてください。地球を肥やせ！を合言葉に：

\* \* \* \* \*

## 「鶴のように舞い上がれ！」

農産学科長 鈴木 哲

ご卒業おめでとうございます。短大の二年間は烏兔匆匆であつたかと思いますが、酉年の今年、まさに皆様は本校から飛び立ちます。これからの長い人生、途中様々な困難に遭遇するかも知れませんが、たとえ燕雀と言われたとしても鴻鵠の志を持ち続け、烏合の衆に迎合せず、鶏群の一鶴となつて飛躍されま

すよう祈っております。



## 「はなむけの言葉」

園芸学科長 高倉 慎

卒業おめでとう！！  
社会人として一步を踏み出す皆さんに心掛けて欲しいことがあります。一つ、仕事と他者に対して誠実であること。二つ、仕事のおもしろさがわかるまで辛抱すること。この二つはとても大事なことです。

短大での思い出が、皆さんの心の支えになってくれることを祈っています。ガンバレ！

\* \* \* \* \*

## 「折々の出会いを大切に」

畜産学科長 小田 康典

これまでの学生生活、そしてこれからの社会人としての生活の中で多くの方との出会いがあります。学生時代に「腹心の友」ともい

べき終生の友を得ることのできた人は幸いです。きつとあなたの人生は豊かなものになるでしょう。時には厳しい方との出会いもある

かもしれません。苦しいこともあるでしょうが、出会った人に感謝し尊敬することを忘れずに歩んでくださ

## 「祝卒業」

研究科長 梶 和彦

二年間或いは三年間の学習と実習でたくましく成長した卒業生諸君の前途を祝うとともにここ大学校で知り得た友人との永遠の友情を大切に。

い。  
皆さん、卒業おめでとうございま



# 感謝のことば



学生自治会長  
松浦 晃洋

卒業生の皆さん御卒業おめでとうございます。先輩方には学校生活・寮生活で大変お世話になりました。また、校内球技大会や櫻隆祭などの学校行事では先輩方が率いる学生自治会、寮自治会が中心となって学校行事をより良くしてくださいました。その為私達も各行事に楽しく自然にとけ込むことができました。本当にありがとうございます。

初めて寮生活をする学生が多く、不安が多い中での入校となりました。そんな中、先輩方は、私達に声をかけてくださり、寮生活のルールや季節ごとの行事について教えてくださいました。私達が楽しく有意義な学校生活を送れたのは先輩方が優しく、時には厳しく指導してくださいましたお蔭げだと思います。

校外行事では、東日本農業大学校

球技大会が宮城県で行われ、女子バレーボールは5位入賞、男子軟式野球は優勝という結果を残しました。

これまで先輩方率いる学生自治会・寮自治会が中心となり私たちを導いてくださいました。これからは、私達新自治会・新寮自治会を中心に新入生を引っ張っていき、さらに充実した学校生活を送れるように役員一同精一杯力を尽くしていきます。

先輩方はそれぞれの道に進み、多くの困難に直面することもあると思います。そんな時は、この学校で学んだことや、楽しかった学校生活の日々を思い出してください。

最後になりますが、卒業生の皆さん本当にありがとうございます。新天地での更なるご活躍をお祈り申し上げます。



# 卒業に 想う

## 農産学科

### ◆稲作専攻◆

\*あつという間に二年間が過ぎてしまいました。実習で色々な事が学べました。これからは人見知りをおおしてがんばりたいです。ありがとうございます。

岡部愛花音

\*この二年間はとても短かったです。しかし、友達もたくさんできましたし、いろんなことについて学ぶことができました。二年間ありがとうございました。

櫻村 翔太

\*二年間短かったです。その中で色々なこととお世話になりました。卒業してもがんばってください。

せえ。

佐川 智哉

\*農短での生活はとても濃かった。たぶん、この先の人生でこれ以上の濃い日常は味わえないだろう。農短のみんな、ありがとうございます。大好き。また会う日まで。

鈴木 健大

\*二年間はあつという間に過ぎてしまいました。私は通学生でしたが、なんだかんだ寮生活にもちよっぴり参加しちゃったりして：（笑）最後に、みんな、ありがとう。

角田 寛和

\*二年間色々あつたが大事を起さず過ごせたのでよかった。本校で学んだ作業の仕方を生かして行きたいと思う。二年間あざっしたあ！。

村上 慎吾

### ◆畑作専攻◆

\*この大学に来て素晴らしい仲間たちに出会うことができました。卒業後は社会に出て、大変なことがあると思いますが、前を向いてがんばっていきましよう。二年間ありがとうございました。

西川 友章



\*二年間、短い間でしたがとても楽しい学校生活でした。短大で出会った仲間たちは、これからも日本の農業を支えるチームメイトです。これからも一緒にがんばろう！

橋本 一哉

\*多くの方と出会い、いろいろな話ができ、自分の考えをもつことができるようになった生活だった。いつか温かな家庭をつくりたい。レオパという家族を！  
かわいいよ！

矢内 沙織

## 園芸学科

### ◆野菜専攻◆

\*楽しい二年間があつたという間にすぎてしまいました。とても充実した日々であり皆のおかげで自分も成長できたと思います。これからも皆で集まって呑むべな！

横山 貴風

\*長いようで短い二年間でした。寮生活はいろいろなありました。寮とても楽しかったです。就職先は農業法人なので、がんばりたいと思います。

渡辺 友貴

\*二年間は長くて、短かったと思います。でも、自分にとってはたくさん思い出ができました。本当にありがとうございます。

大内 崇弘

\*二年間が短く感じるほど楽しく過ごせました。これからは社会人ですが、この学校で学んだことを生かし、がんばりたいと思います。今までありがとうございます。

小澤 廣大



\*二年間とても楽しかった。別れがすぐくさみしい。落ちついたらまた会おう。じゃあバイバイ。

神野 孔明

\*学校生活、寮生活とも二年間とても楽しく送れることができました。今度の社会に出ても楽しくやっけていきたいと思いました。

國分 輝

\*二年間長いようでとても短かったです。いい意味でたくさんこのことを学ぶことができました。ありがとうございます。

小針 啓孝

\*初の寮生活、高校生活と違って、自分で考えて行動や人との関わりの見方など全く違う毎日でした。そのおかげで、成長できたと思います。ありがとうございます！

駒場美咲季

\*この二年間は自分にとって新鮮味があり毎日が楽しい日々でした。それは、先輩、同級生、後輩、先生方のおかげです。ありがとうございました。

齋藤 広貴

\*二年間ほんとうに短く濃い学校生活でした。そしてこの思い出を絶対に忘れない。

佐藤 康平

\*二年間という短い間でしたが、とても楽しかったです。実習や寮生活でお世話になった方々、ほんとうにありがとうございます。

志賀 郁友

\*二年という短い間でしたが、多くのことを学んだ密度の濃い日々でした。あたたかく接してくださった同級生の皆さん、先生方、ほんとうにありがとうございます。

竹本 真也

\*二年間充実した学生生活を送る事が出来ました。寮生の皆さん面倒をかけ大変お世話になりました。北二階の皆さんありがとうございました。四月から頑張ってください。

東條 昌司

\*ついこの前入学したと思ったらもう卒業です。時間の流れがはやく感じます。もう年ですかねえ。とにかく卒業です。二年間ありがとうございました！

山我 湧人

### ◆果樹専攻◆

\*これからはみんなに会うのに理由が必要になる…哀しいなあ。

入岡 真也

\*人生で唯一となる一人暮らしをしたり初めて農業を学んだりと貴重な経験ができました。卒業後も皆が息災でまた会うことができたらいいなと思います。

小野 徳章

\*二年間とても短く感じました。ここで過ごした二年間はいい思い出ばかりです。ありがとうございます。

佐藤 匠

\*二年間というのは、とても短く感じました。実習、寮生活を通して本当に様々なことを学べたし、たくさんのお出を出を作れました。楽しい二年間でした。

嶋原 航

\*二年間、本当にあつという間に過ぎてしまった気がします。いろいろなんだかんだ文句を言ったけど、最終的にはとても楽しかったです。みんな本当にありがとうございました！

清野 拓也

\*二年間はあつという間でした。専攻では女子一人でさみしいと思いましたが、みんなと仲良くなることができました。ありがとうございました！

田村 葵衣

\*二年間は、思ったより短い期間でした。まだやりたい事もあったのと思う事もあります。が今まで楽しかったです。

二瓶 凌

\*たのしかった。うん。すぐたのしかったんだ。小中高と進学したけど一番楽しかった。ありがとう。

深谷 真悟



\*この二年間は、とても短い時間でしたがとても楽しく充実した二年間で沢山の思い出を作ることが出来た。二年間お疲れ様でした。

星 伸平

\*二年間という短い間でしたが、とても楽しく、かなり濃い二年間でした。

八城 達哉

\*楽しい農短ライフでした。寮生活は自分にとって最高の思い出です。こんなに羽を伸ばして成長できた。これからは立派な社会人になります。

吉本 翔汰

### ◆花き専攻◆

\*二年間あつという間でしたが、とても充実した学校生活でした。今後は社会人として、気合を入れて、頑張っていこうと思います。

石川 祐己

\*長そうで短い二年の間、仲良くしてくれた人達ありがとうございました！

稲本 望

\*二年間あつという間でした。農短の生活では、毎日楽しく過ごせました。またみんなで集まろう！

猪俣 黎

\*入学したときは、長いなあと思っていたけど、あつという間の二年間でした。女子寮のみんな、花き専攻のみんな、二年間ありがとうございました。

相良 紗綾

\*二年間私はこの学校で様々な事を学びました。その他にも楽しい寮生活を送ることができました。この二年間学んできたことを仕事場でいかしたいと思っています。

佐藤 啓祐

(7)

\*長いと思っていた二年間もあっという間でした。大変なことも沢山ありましたが、なんだかんだ楽しかったです。また縁があれば

一階堂 翔

\*二年間という短い間だったけど、とても楽しくすごせました。いろんな思い出をありがとうございます。

島貫 元輝

\*この二年間で農業に関するいろいろなことを学びました。寮生活もいろいろな思い出ができて楽しかったです。この二年間は忘れません。



ば、よろしくお願いします。

増田 彬人

\*二年間という短い中でみんなと善い行いや悪い行いをし、とても刺激的な日々でした。またどこかで会うと思うのでサヨナラは言いません。また会いましょう。

間船 栄崇

## 畜産学科

### 酪農専攻

\*あつという間の二年間だったけど、自分にとってかけがえのない農短生活を送る事が出来ました。ここで学んだことを、一生大事にして将来に向かって行きたいと思います。

佐藤 雄太

\*二年間、農業短大で様々な経験ができました。大変だったこともありましたが、実習、寮生活などを通して良い思い出ができました。

長谷川 哲史

### 肉畜専攻

\*二年間という短い間でしたが、個

人的には四年ぐらいの思い出ができました。学校生活をはじめ、寮生活、みんなと笑えた日々は一生の宝物です。

小泉 健

\*二年間という短い間でしたがありがとうございます。野球で優勝できてよかったです。北二階のみんなありがとうございます。

橋本 敏宏

\*二年間、大変お世話になりました。ずっと一緒に居てくれた方も全く接点のなかった方もありがとうございます。お元気で。

古川 未歩



\*二年間、思っていたより短くあっという間でした。このあっという間の二年間をこれからの人生にとって有意義なものにできるかは自分次第、頑張っていきます。

山岸 剛大

## 研究科

\*最後の研究科生活は、非常に充実した生活を送れたのでまあ良かったと思います。

齋藤 貴明

\*研究科を含めると三年間短大に通っていましたが、思い返してみるととても短く感じます。三年間ありがとうございました。

佐藤 尚之



# トピックス

## 東日本球技大会 野球優勝



平成二十八年五月二十六日、二十七日に宮城県のシェルコムせんだい、泉体育館を会場に東日本農業大学校等親善球技大会が開催されました。  
北海道、青森、岩手、宮城、山形、福島 of 農業大学校で組織される東日本農業大学等協議会が主催し、男子学生は軟式野球、女子学生はバレーボールに参加しました。

軟式野球は二年ぶりの優勝、バレーボールは第五位という結果となりました。真剣勝負の後は交流会が開催され、各県の学生と親睦を深めました。

### 入賞者

#### ●第二十七回ヤンマー学生懸賞

##### 論文・作文

(主催：ヤンマー株式会社)

- 作文の部 銀賞  
農産学科一年 遠藤 亜美
- 作文の部 銅賞  
園芸学科一年 柳沼 弘道
- 作文の部 銅賞  
園芸学科一年 吉田 優太



#### ●第十回全農学生「酪農の夢」コンクール

(主催：全国農業共同組合連合会)

- 優秀賞  
畜産学科一年 館内 将希



#### ●全国農業大学校等プロジェクト発表会

(主催：全国農業大学校協議会)  
ヤンマー賞

- 研究科 齋藤 貴明

#### ●東日本農業大学校等プロジェクト発表会

(主催：東日本農業大学校等協議会)  
プロジェクト発表 研究課程

- 優秀 研究科 齋藤 貴明



#### ●校内意見発表会

- 最優秀 畜産学科一年 草野 智貴



##### 優秀

- 園芸学科一年 佐藤 愛美

##### 優秀

- 農産学科一年 遠藤 亜美

#### ●校内卒業論文発表会

##### 最優秀

- 園芸学科二年 竹本 真也

##### 最優秀

- 研究科 齋藤 貴明

##### 優秀

- 園芸学科二年 小野 徳章

##### 優秀

- 園芸学科二年 駒場美咲季

##### 優秀

- 研究科 佐藤 尚之



アグリカレッジ福島  
福島県農業総合センター  
農業短期大学校

〒969-0292 福島県西白河郡矢吹町一本木446番地1  
TEL:0248-42-4113(教務管理)  
E-mail:nougyou.noutan@pref.fukushima.lg.jp

福島農短

検索

